

初めまして、読売新聞の配達を行っている読売センター所長の篠原です。当社は福岡市西区の姫浜から西の地区、二丈地区以外の糸島市、それに吉野ヶ里を加えた地区に読売新聞を配っています。日頃新聞をずっと配っているのですが、ときどき、こういうことを地元の人に伝えられたらいいなとか、こういう人物をもっと紹介してあげられたら、地元のために思うのにと、思うことが有り、何か情報を発信する媒体を作って、もっと地元を貢献しようと思いい立ち、この「シノちびボイス」の発行となりました。新聞離れの進む小中高生にとっても刺激になるような情報を届けられたらと思っています。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



勝ちたいと思っっている人より

一番楽しいと思っっている人が勝つと思います。

高校生プロレーサー 坂口夏月さん(18)

福岡市西区在住の高校生が、F1レーサーを目指して、今年ホンダフォーミュラドリウムプロジェクトに所属することとなり、3月からはF4レーサーとしてデビューすると聞きました。そんな凄い高校生だったら取材させてもらうしかない、大野城市の仮設のカート場で開催された、キッズカートスクールで講師を務めていた坂口選手を訪ねました。



初めてカーレースを見たのは五歳

夏月選手がまだ幼稚園児の頃テレビのF1の番組を観たそうです。あまりにもカッコよくて、幼稚園の卒園文集にF1レーサーになりたいと書いたそうです。そして、小学2年生の時、お母さんが粕屋のレンタルカート場に連れていってくれたそうです。夏月君は、初めてカートに乗った時から、スピードを恐れるこ

となく、アクセルをどんどんふかしていたそうです。

3年生になってカートの全国大会でいきなり3位に入賞し、父親の正志さんは夏月君のドライビングの才能を伸ばしてやろうと、伝手を頼っていい指導者を探していたそうです。

道上龍氏との出会い

夏月君が小学6年生の頃に道上龍氏が率いる国内最高峰

15歳のとき、道上氏が監督として率いている「ART グランプリ ジャパン レーシングチーム」に所属できたのです。同チームは現役F1レーサー、ルイス・ハミルトンやフェリペ・マッサ、ロマン・グロージャンを輩出した実力派チームなのです。

今年3月から F4に参戦予定

昨年高校2年のとき、元F1レーサー中嶋悟氏が校長を務める「鈴鹿サーキット・レーシングスクール・フォーミュラ」に夏月君は入校しました。同校は佐藤琢磨を輩出した名門で、本来4段階のステップがあり、約100名の候補生の中から第3段階を乗り



子ども達にカートを楽しんでもらおうと指導中の夏月選手。

越えた8名の候補者の中に夏月君は入れたのです。世界で通用するドライバーを育成する同校のカリキュラムを月2回三重県の鈴鹿に通い、本年度主席で卒業され、2名の枠しかないホンダフォーミュラドリウムプロジェクト(HFD)にめでたく所属することができました。この3月からF4のレースに14戦、全国を転戦して、いい戦績を残せばF3、そしてその先に目標のF1レーサーへの道が繋がっているわけです。

レースをしている時が一番楽しい

18歳で将来の仕事が明確にできて幸せですか?という質問に、夏月君は「レースをするのが楽しくてしょうがないです。」

という答えが返ってきました。実力が有りハンサムなのに、驕ることもなく大人しそうな普通の高校生らしい表情でいて、穏やかな口調で自然体で一語一語といねいに言葉を考えて話す様子には、全く気が負いが感じられません。

夏月君の父親の正志氏にど

うやったら、こんな才能豊かで、性格もいい好青年に育つのでしょうか?と聞くと。「自分は京都の社寺仏閣の職人として仕込まれた。だから同じように、我を無くし、素直な目で本物を観て本質をつかめと教えた。とにかくぶれない男になるよう仕込んだつもりだ。自分がこうなつて欲しいという男になつてくれた。」

おそらく子どもにレースをさせるためにご両親はいろいろ御苦労があったと思うのですが、きつとその大変さを夏月選手は理解していて、カーレース以外のことにあまり欲を示さないとのこと。

彼の強さの秘密を聞こうと、ちようどソチオリンピックの最中だったのでどういう人が金メダルをとれる人だと思えますか?という質問を投げた。

すると夏月選手の答えは「勝ちたいと思っっている人ではなく、ゲームを一番楽しいと思っっている人だと思います。」

という答えでした。レースが始まればスイッチが入り、楽しくてしょうがないという夏月選手らしい答えでした。

坂口夏月オフィシャルサイト
www.natsu-sakaguchi.com



編集後期
読売新聞センター今宿の篠原さんと最初に、こういうペーパーを作ろうと話合ったのが去年の12月10日で、やっと第一号ができました。今回は坂口さんごとの夏月選手取材させていただきました。彼が今後出世してF1レーサーになったら、こういう取材も簡単に受けてはもらえなくなると思うし、ぜひもうひとついいなあという想いも込めて取材させていただきました。今後も世間にもっと知ってほしい逸材を取材していきますので、今後もこのペーパーが続けられるよう応援してください。

取材・撮影・編集・デザイン 嶋崎

集まらんね!しゃべらんね!今宿で!!
第23回 今宿商工まつり2014
日時:平成26年3月9日(日) AM11:00~PM3:00
会場:松原公民館・二宮神社(今宿1丁目)
読売新聞センター今宿もワークショップで「エコバックづくり」に参加します。
●ステージでは九大生の楽しい歌や演奏、今宿の子どもたちの太鼓の演奏や、ダンスを披露してくれます。
●出店では、からあげ、やきとり、やきそば、本場インドカレー、うなたれ焼きおにぎり、特製たこやき、特製博多和牛もつ鍋、さくらもち、春のお菓子、翅屋パン、他ワークショップもいろいろあります。

STOP!! 飲酒運転
あなたのモラルで、動かす「命」があります
夏月選手およびお父さんの会社 建築マニアさん、夏月選手の仲間 は「NPO法人はあとスペース」さんを応援しています。
NPO法人はあとスペース
blog.livedoor.jp/heart_space/